

かくだ市議会だより



第411回定例会

- 質疑・討論 2～3
- 議案審議結果 3
- 一般質問 4～11

角田市議会から

- パブリックコメントの結果 11
- 議会日誌 11
- 凍霜害の現地調査 12
- 令和2年度
政務活動費収支報告 12

【今号の表紙】『夏の朝』

お盆も過ぎ残暑が予想される朝、早々と田んぼの寄せ刈りを始める農家の方が印象的でした。

《撮影》角田市角田 石原 三雄 さん

撮影日：2020年8月20日

場 所：北郷地区

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第411回 6月定例会

第411回定例会は6月11日から29日までの19日間の会期で開かれました。

一般質問では13人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

市長から提案のあった条例の改正、補正予算の議案18件を原案のとおり可決し、固定資産評価審査委員会委員に係る選任について同意しました。

また、議員提出議案が3件提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

一般・特別会計補正予算一覧

(単位:千円)

| 会計区分 | 補正額(6月) | 補正後の額 |
|--------------|---------|------------|
| 一般会計 | 269,905 | 13,603,819 |
| 特別会計(介護保険事業) | 2,599 | 3,291,765 |

一般会計の主な補正予算項目

| 歳入(収入) | | (単位:千円) |
|----------------------------|--------|---------|
| 項目 | 補正額 | |
| 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 | 29,167 | |
| 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費交付金 | 21,750 | |
| 防災・安全社会資本整備交付金(都市防災総合推進事業) | 50,000 | |
| 道路整備事業充当債 | 48,300 | |

歳出(支出)

(単位:千円)

| 項目 | 補正額 |
|----------------------------------|---------|
| 阿武隈急行線新型コロナウイルス感染症対応定時定路線運行維持支援金 | 37,187 |
| 子育て世帯生活支援特別給付金 | 21,750 |
| 道路改良事業 | 100,000 |

議案第39号

角田駅コミュニティプラザ 条例の一部改正

体験型観光を推進するために導入する電動アシスト自転車の使用料を徴収するので、所要の改正を行うもの。

| 使用料 | 使用時間 |
|---------------------------------|--------------|
| 5時間まで300円(5時間を超える場合は1時間につき100円) | 午前9時から午後5時まで |

議案第36号

購入台数、金額は

10台購入し、契約額は103万5,980円。仕様は前かが付き20インチの小径車で内装3段ギアを装備した電動アシスト自転車である。

議案第40号

一般会計補正予算(第4号)

みやぎ県南中核病院通院等アクセス実証事業

ルートの考え方を問う

市民センターを出発後、阿武隈急行線角田駅、ウエルパーク、仙南中央森林組合を経由し、中核病院までの最短ルートで運行する。

議案第27号

賠償責任補償

死亡若しくは重度後遺障害(1~7級)最大1億円
死亡若しくは重度後遺障害(1~4級)100万円
15日以上入院10万円
15日以上入院10万円

反対討論……日下 七郎



今回の補正予算にて、「地方債の前前年度未及び前年度末における現在高並びに当該年度末における現在高の見込みに関する調書」の前年度末現在高が、令和2年度角田市一般会計補正予算(第17号)の当該年度末現在高見込額と同額となるべきところを23億円超の減額となっている。これは、災害復旧事業で、地方債の起債ができなかったのか、災害復旧債が過大となっているのか、議決予算と異なる予算の執行となっており、適正な予算の編成を求め、反対する。

賛成討論……堀田 孝一



今回の主な歳出補正は、通院に対する需要と事業に関する有効性を調査研究する目的として実施する「みやぎ県南中核病院通院等アクセス実証事業」、ワクチン接種に係る「新型コロナウイルス感染症対策事業」、駅前花鳥線に係る「道路改良事業」、非構造部材の点検調査等を実施するための小中学校の「施設整備維持管理事業」等であるが、いずれも市民の足の確保、また、安全・安心を守るために必要、かつ、緊急性を要する事業であることから、賛成する。

議案第36号

やすらぎの家条例の一部改正

平成26年1月より使用を中止している東根やすらぎの家について、使用廃止するため、所要の改正を行うもの。

議案第36号

やすらぎの家条例の一部改正

解体後、普通財産としての利用について地元から要望はあるか。
早急に解体して欲しい旨の要望のみである。
令和元年東日本台風災害の状況等を鑑み、普通財産から行政財産として避難場所とすることを検討しているか。
地域住民とも協議しながら検討する。

固定資産評価審査委員の選任

《新任》太田 京子
任期 令和3年6月30日、令和4年9月30日

第411回(令和3年6月)定例会

視聴者数 延べ458人

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長(渡邊 誠)は採決に加わらない。

| 提出者 | 議案番号 | 件名 | 審議結果(賛成:反対) | 会派一心 | | 市民クラブ | | 日本共産党 角田市議団 | | 志政クラブ | | 無党派 | | | | | | |
|-----|--------|--|-------------|-------|------|-------|-------|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 菊地 利衛 | 小湊 毅 | 星 隆悦 | 戸村眞喜夫 | 星 守夫 | 小島 正 | 湯村 勇 | 日下 七郎 | 八島 定雄 | 堀田 孝一 | 武藤 広一 | 菅野 マホ | 馬場 道晴 | 柄目 孝治 | 相澤 邦戸 |
| 市 | 議案第27号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(角田市国民健康保険条例の一部改正について) | 可決(12:3) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 長 | 議案第36号 | やすらぎの家条例の一部改正について | 可決(13:2) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第40号 | 令和3年度角田市一般会計補正予算(第4号) | 可決(13:2) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

全員が賛成したもの

| 提出者 | 議案番号 | 件名 | 提出者 | 議案番号 | 件名 |
|-----|--------|--|-----|--------|------------------------------|
| 市 | 議案第28号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和2年度角田市一般会計補正予算(第17号)) | 市 | 議案第39号 | 角田駅コミュニティプラザ条例の一部改正について |
| | 議案第29号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(角田市市税条例の一部改正について) | 市 | 議案第41号 | 令和3年度角田市介護保険特別会計補正予算(第1号) |
| | 議案第30号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(角田市都市計画税条例の一部改正について) | 市 | 議案第42号 | 令和3年度角田市水道事業会計補正予算(第1号) |
| | 議案第31号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度角田市一般会計補正予算(第2号)) | 市 | 議案第43号 | 令和3年度角田市下水道事業会計補正予算(第1号) |
| | 議案第32号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度角田市一般会計補正予算(第3号)) | 市 | 議案第44号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について |
| 長 | 議案第33号 | 角田市市税条例等の一部改正について | 市 | 議案第45号 | 令和3年度角田市一般会計補正予算(第5号) |
| | 議案第34号 | 角田市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について | 議員 | 議案第2号 | 角田市議会基本条例の一部改正について |
| | 議案第35号 | 手数料条例等の一部改正について | 議員 | 議案第3号 | 角田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について |
| | 議案第37号 | 角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 議員 | 議案第4号 | 角田市議会会議規則の一部改正について |
| | 議案第38号 | 角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | | | |

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質問することができます。質問した議員ごとに要約してお知らせします。



未曾有の凍霜害を受けた果樹・野菜等の生産農家支援について

戸村 眞喜夫

議員▼今年4月に氷点下となる最低気温を6日記録したことから、角田市内の農作物に未曾有の凍霜害が発生し、特に果樹部門では収穫皆無の圃場もあると聞いている。現時点での具体的な被害状況はどうか。また、市長は「関係機関と連携して、被害農家の今後の営農意欲を下支えるための支援を検討して

いく」と行政報告したが、具体的にどのような対策を考えているのか。市長▼被害作物数は11種類、被害面積は約15ha、総被害額は6,259万1,000円になり、そのうち、梨の被害が5,198万5,000円、りんごが674万6,000円、梅が64万6,000円である。対策として、梨については県等に蔵王町、みやぎ仙南農業協同組合と連名で、資材費や管理経費等への支援凍霜害防止の機械等の導入費助成や資金借り入れの際の利子補給等への支援、農家の経営継続及び産地の維持発展のために必要な対策支援の要望書を提出した。特に被害の大きい梨とりんごの生産者には資材費及び凍霜害対策に係る経費の助成が必要であると考えている。議員▼被害額が小さいとされる作物についても出荷販売が終了しないなど実被害が判明しないので確認してから対策を講じる必要があるのではないかと。市長▼今後、作物の販売期や出荷期終了を見据えて対応を検討していきたい。

議員▼農業経営収入保険の保険料等補助について

制度が2019年1月からスタートしたが、加入者が伸び悩んでいると聞いている(仙南2市7町では208戸の加入者で、うち角田市では、81戸の加入者)。そこで、加入者の促進を図るため、第1に、加入者が青色申告者に限られているために、農業者に白色申告から青色申告に変更してもらうことが必要だが、角田市農業振興公社で、より一層の普及拡大策を打てないか。また、第2に、保険料が高いと思われるので、加入促進のためには保険料の補助を考えるべきではないか、所見を問う。市長▼市内では青色申告の各種相談会等が開催され、普及活動は実施されているが、改めて角田市農業振興公社で、より効果が見込める活動ができないか検討、要請していく。また保険料の補助については宮城県農業共済組合からも収入保険への加入促進に関する施策の検討を求められているので、他市町村の先進事例を参考に検討していく。

議員▼令和元年東日本台風により市では10月11日の降雨から雨量累計404ミリメートル、市内の4割が冠水し、洪水による家屋浸水被害が集中した7地区(小田・裏町地区、左関地区、岡・江尻地区、江尻谷津前地区、野田地区、枝野地区、神次郎地区)を検証し、「角田市防災・減災構想」を策定とあり、枝野区域の雨水対策事業について、枝野区域の水系、水系別の排水機場の流域面積と排水能力を問う。市長▼枝野区域の水系は排水路は丸森町の小斎地区から流れる横堀幹線排水路、大堀幹線排水路及び青木幹線排水路で、河川は桜井川、大谷川、内川が合流する新桜井川が主な水系である。横堀幹線排水路及び桜井川水系には沿尻排水機場(流域面積775ha、計排水量5.2立法メートル/s)、大堀幹線排水路及び青木幹線排水路水系には中谷地排水機場(流域面積1,364

ha、計画排水量11.98立法メートル/s)を設置し、両排水機場は、阿武隈川水系角田地区土地改良区(以下「改良区」という)の施設である。議員▼沿尻・中谷地排水機場の計画排水量の能力は、農業基準で一昼夜冠水することを前提としている。「角田市防災・減災構想」によると、沿尻排水機場の能力不足により大雨時の流域面積(山林含む)は1,355haとなり、大雨時に絶対量の排水ができない。また、国土交通省「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」は重要な事業となっている。市の内水の排水事業についての協議をしているか。市長▼現在も協議を進めており、これからの進め

議員▼新桜井川を横断している大堀幹線排水路及び青木幹線排水路のサイフォンに設置の除塵機が冠水すると稼働停止となり、サイフォン上流に稲わら等が堆積して、大堀幹線排水路及び青木幹線排水路の流水量が激減し、枝野地区冠水の水位がさらに上がる要因となっている。現在もサイフォンは設置者の管理となっているので、大型除塵機の設置を求めるところについて問う。市長▼現在、改良区で検討している、大堀(半田川サイフォン上流)、青木(笠松)、長田(長沼)各除塵機について防災・減災事業等の補助事業を活用し、配電盤のかさ上げ機能強化について、県を含めた三者で対策を進めたい。また、大型除塵機の設置については、調査検討を行う。議員▼新桜井川の水位が下がったときに校前、枝野の内水排水の右岸校前水門及び左岸笠松水門の管理者は確定したのか。市長▼校前水門は令和2年3月に県との打ち合わせで、改良区の管理と確定した。笠松水門の管理者は明確ではなく、今後



枝野区域の雨水対策事業について

日下 七郎

| 質問議員(質問順) | 質問項目 | 頁 |
|-----------|--|---|
| 菅野 マホ | 「青少年育成は未来につながる、ひとづくら」について その他の質問 ・「角田市の果樹農家の未来を守ろう」について ・「市民と共に考える『まちづくり』」について | 7 |
| 星 隆悦 | ウイズコロナ、アフターコロナにおける観光のあり方について | 7 |
| 馬場 道晴 | コロナ禍における女性の負担軽減策について | 6 |
| 柄目 孝治 | 新型コロナウイルス感染症対策に関して その他の質問 ・角田市景観条例に関して ・角田市の財政状況に関して | 6 |
| 日下 七郎 | 枝野区域の雨水対策事業について その他の質問 ・宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)に関する事について ・第410回定例会一般質問の答弁について | 5 |
| 戸村眞喜夫 | 未曾有の凍霜害を受けた果樹・野菜等の生産農家支援について 農業経営収入保険の保険料等補助について | 5 |

| 質問議員(質問順) | 質問項目 | 頁 |
|-----------|---|----|
| 小島 正 | 内部牽制組織の確立について その他の質問 ・道路路線の見直しと整備について | 8 |
| 相澤 邦戸 | 第8期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の実施について 第6期角田市障害福祉計画・第2期角田市障害児福祉計画について | 8 |
| 菊地 利衛 | 阿武隈川の氾濫から市民の生命財産を守るために 廃校舎の利活用について 不法投棄・ポイ捨てゼロに向けて | 9 |
| 八島 定雄 | 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策について その他の質問 ・最新の角田市「空き家バンク」について | 9 |
| 堀田 孝一 | 移住・定住、促進の取り組み「関係人口」について | 10 |
| 武藤 広一 | 角田市「移住・定住施策」の促進について | 10 |
| 小湊 毅 | コロナ後の角田市について | 11 |



新型コロナウイルス感染症対策に関して

柄目孝治

議員▼様々な事業の積み重ねと、市民の皆様のご協力・自助努力により、感染状況は比較的安心なレベルを保つてこられたものと感じていますが、ウイルス自体は死滅も消滅もしたわけではなく、むしろ変異を繰り返して感染力が強く、重症化も早い。このようなウイルスはまん延の兆しが再び寄ってきており、新たな恐怖を感じているが、この状況を市はどのように捕まえていくのか問う。

市長▼まん延防止を図るうえで、検査体制の確立は重要と考えている。感染者への対応や検査は、県の機関である保健所の業務であり現在の検査体制は適切と考えている。市独自で幅広く検査を行うことは、現実的に困難である。

議員▼PCR検査、抗原検査それにモニタリング検査の市独自導入で、早い検査で素早く結果を出す、体制の確立が絶対要件だと思いが市長の所見を問う。

市長▼手をこまねくのではなく何らかの方策をとる必要がある。スーパースプレッダー対策も含め成功事例があるのだから国や県は指導すべきと思う。対処していく有効手段であり、市長会等でもその有効性を勉強し提案していくこと、また、市や市民、議会が一体感を持つてやっていくことがコロナに打ち勝つことにつながるかと考えている。

議員▼「二つの戦略」を生まない手だてがこの「二つの戦略」につながる。その為

議員▼「二つの戦略」は、行政で取れるものではなく難しい。その「二つの戦略」について我々の打てる最善の策とはどんなものがあるのか情報があれば担当議員に問う。

コロナ禍における女性の負担軽減策について 馬場道晴

議員▼生理用品を防災備蓄品に加え、更新時には必要な方へ無償提供することについて問う。

市長▼本年より防災備蓄品目に加え、市民センター及びウエルパークに備蓄を完了した。保存年限は10年間で、更新の際には関係団体と連携し、無償提供も含め、必要な方に提供したい。

議員▼生理用品の用意が難しい方には公的資金を投じて、円滑な運営にて配布すること等、国や県と連携し必要な方に届く仕組みを講じることにしている。市長▼様々な困難、課題を抱えている女性に対して、県では内閣府の地域女性活躍推進交付金の活用を検討している。本市も県と連携し、支援していきたい。

議員▼学校の施設等で置いておくと、不衛生との指摘も受けており、検討中。他自治体を参考に実施していきたい。

議員▼生理用品の寄附を受け付ける仕組みづくりを検討してはどうか。

行政区と自治センターの今後のあり方について 星隆悦

議員▼区長等役員負担の増、広報紙等配布の負担増の解決策を問う。

市長▼過去の調査の意見・問題点を踏まえ、費用対効果も考慮しながら検討している。行政区活動は地域住民の日常生活を根底から支えており、持続的かつ効率的な行政区の運営を引き続き検討していく。

議員▼区長が行政区運営協議会委員を辞退した場合の取扱いを問う。

市長▼可能な限り協力いただいている。

議員▼自治センターの職員公募制による地元在住職員不在、地域の実情に精通しているか疑問が生じる。市長部局移管に伴う問題を問う。

議員▼区長等役員負担の増、広報紙等配布の負担増の解決策を問う。

市長▼それも一つの考え方であり、今後検討する。

議員▼区長が行政区運営協議会委員を辞退した場合の取扱いを問う。

議員▼区長が行政区運営協議会委員を辞退した場合の取扱いを問う。

市長▼可能な限り協力いただいている。

議員▼自治センターの職員公募制による地元在住職員不在、地域の実情に精通しているか疑問が生じる。市長部局移管に伴う問題を問う。

「青少年育成は未来につながる」びびぐりどろどろ 菅野マホ

議員▼新型コロナウイルス感染症の影響により学校現場や家庭での子ども達の状況を問う。

議員▼心身のケア等のサポート体制は十分か問う。

議員▼子ども達に、どのよう「心の教育」をしているかを問う。



内部牽制組織の確立について

小島 正

議員▼信頼される職場にしていくなかには、不正の起きにくい仕組みを作ることが不可欠であり、すなわち、自己検証システムの構築を図ることである。そこで、人事配置を確保すると、一時的な兼務職を除き、兼務が多いことに気付くが、事務管理において、主に現金を取り扱う部署の内部牽制がしっかりとなされているか問う。

こと、不正、誤謬の発生を未然に防止し、発見し得る管理組織のことである。部長と課長、課長と次長等の兼務において、牽制が行き届かないと考えるが。

阿武隈川の氾濫から市民の生命財産を守るために

菊地利 衛



議員▼阿武隈川がシミュレーションのように氾濫した場合は避難指示対象人口は最大どの程度か。

避難所で1万2,500人になる。議員▼洪水氾濫により木造家屋倒壊のおそれのある区域の世帯数と人口はどの程度か。

市長▼現状における最大のリスクを周知し、認識して貰うことが重要である。議員▼川崎町では、3年間待っても地域からの意見が無く一般公募に踏み切った。丸森町では、廃校が決まった段階から活用を検討する組織を設けた。2町とも廃校に活用した4校を民間等で活用している。

第8期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の実施について

相澤 邦戸



議員▼アンケート調査で「健康づくり活動や趣味活動への参加希望は高いが参加するための移動手段がない」との結果を受け、「利用者のニーズに合わせた実施体制の整備に取り組み」とあるが、その進捗状況を問う。

議員▼第7期計画における評価・検証で、「あまりできなかった」とある生活支援体制整備事業、「未実施」の第2層（自治センター単位）生活支援センターの推進員、地域支え合い推進員、新たな生活支援サービスについて、今後実施していくのか問う。

議員▼「保育所の整備」があり、「保育所等訪問支援サービス」が令和2年9月に設置されたことだが、その実情と課題を問う。



新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策について

八島 定雄

議員▼接種順位別、接種対象者の接種のタイムスケジュール（接種完了時期はいつか）について問う。

議員▼接種率の最終目標をどのように設定しているのか。

議員▼未接種者に対し、接種を促すような手立てや考えはあるか。



移住・定住、促進の取り組み「関係人口」について

堀田 孝一

議員▼移住・定住の取り組みは、いろいろ工夫されているもの、人口減少の抑制は厳しい状況と感じているが、所見を問う。市長▼いろいろな形で実績は上がってきていると思っているが、人口減少に対しての効果は少ないと思っている。今回、結婚新生活支援事業を行っているが、今後、精査しながら継続していきたい。議員▼人口減少・高齢化が深刻な本市において、関係人口という地域外の人材が地域づくりの新たな担い手、後継者として期待されると考えるが、所見を問う。市長▼地域外の人々が地域と関わりを持つことで、住んでいけると分らない地域の良さや欠点に気づき、客観的な観点から新たなアイデアを生み出すため、関係人口は地域活性化に期待ができる。議員▼地方暮らしに興味を持たれる方が非常に多いが、仕事や日常生活における交通の利便性を重

視する方が多く、思いはあるが、移住はハードルが高いと言えらる。そこで、角田のファンを増やすことが必要であると考える。市長▼角田市の存在から始まり、知っていただきさらには関わっていただきながらファンになっていただく、観光での訪問ということだけではなく、さらに一歩踏み込んだ関係をつくる必要がある。議員▼埼玉県越生町ではふるさと納税者にふるさと住民票を交付し、イベントの入場料を無料にし、町内施設の使用料を町民と同額にする「ふるさと住民票」事業を行っている。また、秋田県鹿角市では、関係人口増加の取り組みとして「鹿角家」事業を行っている。地域の困り事をさらけ出し、家族の方々に手伝ってもらう。例えば、リンゴの収穫時に人が足りない困難事を家族に発信し、興味があれば来てもらえる

議員▼自治体と連携して移住を支援するNPO法人「ふるさと回帰支援センター」(以下「センター」という。)(東京)の2020年の窓口相談者が選んだ都道府県別移住希望地ランキンングで、宮城が5位と前年17位から大きく順位を上げたこと報道された。コロナ禍の影響で地方移住に注目が集まる中、首都圏からの近さ

や就職先が多いことへの期待が過去最高に押し上げた。本市もセンターの会員だが、これまでのセンターでのセミナー等の開催実績と今後の予定を問う。市長▼平成30年度は、みやぎ移住フェア等3回、令和元年度は、地域おこし協力隊募集セミナー、東北U・ターン大相談会等8回、令和2年度は、コロナ禍のためオンラインによる移住フェアを2回開催。令和3年度も、オンラインによる移住フェアを2回開催予定。議員▼反響はあったか。市長▼相談はあったが移住までは至っていない。協力隊に関しては2人の実績があった。議員▼本年5月1日から、角田市の魅力盛りだくさんPR動画を、角田市公式YouTubeで公開している。3種類の動画があり、市の魅力が十分に伝わり、ユニークに紹介されている。現時点での、閲覧人数と反響は。市長▼6月16日現在で、「角田の5つのめぐみ」がシヨートバージョン507回、ロングバージョン565回、「先輩移住者」に聞く宮城県角田市の魅力」がシヨートバージョン444回、ロングバージョン822回、「宇宙人と行く角田VRツアー」が463回閲覧された。反響は、公開前と

比べて、週に1、2件程度、相談は増えた。議員▼PR動画を利用し、センターを含めて、国・県との連携が重要だと思うが、市長の所見を問う。市長▼市のホームページや広報かくだへの掲載、JAXA角田宇宙センター新規採用職員研修会での使用、各種事業の際に運行するシャトルバス等での配信、また、首都圏へのSNS広告や移住相談会での使用等、活用を幅を広げたい。センターや国・県との連携も図っていく。議員▼センターのホームページに、「東松島市オンライン移住相談を始めました」とあり、ZOOMを利用したオンライン個別移住相談で、移住者が「コディネーター」となり、「仕事のこと、住まいのこと、気候のこと」等々一気軽に相談に応じている。本市でも始めてみてはどうか。市長▼現在、電話での問い合わせ対応はある。移住者の協力が得られれば、今後、体制整備を検討したい。議員▼センターの最大限利用、空き家バンク制度見直し、使い勝手のいい補助金制度の充実が必要だ。市長▼センターとの関わりを再確認し、各種支援制度の見直しを含めて検討したい。

角田市「移住・定住施策」の促進について

武藤 広一



市民の皆様からご意見を募集した結果、4人の方よりご意見(4件)をいただきました。ご意見及び市議会としての考え方を左表のとおり公表します。貴重なご意見をいただき、深く感謝しあげます。

比較して、週に1、2件程度、相談は増えた。議員▼PR動画を利用し、センターを含めて、国・県との連携が重要だと思うが、市長の所見を問う。市長▼市のホームページや広報かくだへの掲載、JAXA角田宇宙センター新規採用職員研修会での使用、各種事業の際に運行するシャトルバス等での配信、また、首都圏へのSNS広告や移住相談会での使用等、活用を幅を広げたい。センターや国・県との連携も図っていく。議員▼センターのホームページに、「東松島市オンライン移住相談を始めました」とあり、ZOOMを利用したオンライン個別移住相談で、移住者が「コディネーター」となり、「仕事のこと、住まいのこと、気候のこと」等々一気軽に相談に応じている。本市でも始めてみてはどうか。市長▼現在、電話での問い合わせ対応はある。移住者の協力が得られれば、今後、体制整備を検討したい。議員▼センターの最大限利用、空き家バンク制度見直し、使い勝手のいい補助金制度の充実が必要だ。市長▼センターとの関わりを再確認し、各種支援制度の見直しを含めて検討したい。



コロナ後の角田市について

小湊 毅

議員▼コロナ禍の状況が1年半以上経過し、生活様式が一変した。これを機に、様々なことを見直すべきではないかと考えている。学校関連については、ある先生から、行事等も減り来賓対応も無くなり、「コロナ前より生徒と向き合う時間が取れるようになった」と聞いた。今後の学校の統廃合を併せて考えれば、残す行事・規模・廃止する行事等を検討するべきではないか。教育長▼教育方法や教育環境は大きく変わろうとしており、これまで当たり前とできてきたことが見直されていく。改革の視点は、児童生徒の視点に絞り込まれ、検証されてきている。統合の準備委員会、専門部会等で協議頂き、学校の先生・地域の方々も含めて、地域にとって学校はどのような今後変わっていくべきなのか御意見を頂きながら、進めている。議員▼地域の各種団体について、各地域には、様々な数多くあり、コロナ禍で活動が中止・縮小された必要なものもそうでないものがより明らかになってきたと考える。この機会に、改めて各種団体の廃止を含めた統廃合等を検討し、実行に移していくべきではないか。市長▼これまでも各種団体等の見直しは実施してきた。第5次行財政集中改革プランにおいても、各種団体等の役割が重複していないか、時代に見合ったものなのか等を見極め、統廃合の観点から見直しを行うことになっている。地域住民や構成員等の意見を聞きながら、目的が重複している

団体の統合・再編、設立目的の達成、形骸化している団体の見直しを行うことで、人口減少や高齢化等による担い手不足の解消を図り、地域に必要な団体の運営・活動の持続化を支援していきたい。議員▼ワクチン接種も進み、いずれコロナも落ち着くものと考えられる。コロナ後を考えた場合、地域経済の立て直しが必要で、重要なことと誰もが考えることかと思う。時期とコロナの状況を見ては、過去に行った支援策を再度行っていくのではないかと。市長▼今後の新型コロナウイルス感染症の状況によつては、経済対策の実施について検討していかなければならないと考えている。今後の国の経済支援策の動向を注視し、財政補助の活用を視野に入れて、角田市商工会との連携を図りながら、支援策実施について検討していく。市長・町村会では、市長会・県会・国で終わって後が大事なんだと言いつつ、国に伝えてある。これまでにの施策の中で、クーポン券・商品券等は、地域経済を活性化させる中で非常に有効だということ認識している。

| ご意見 | 市議会としての考え方 |
|--|--|
| <p>ご意見</p> <p>改正は反対。議論が深まらない理由は、議会報告会の設定(時間・場所等)に問題があるのではないかと。議員の熱意ある行動に期待する。</p> <p>創意工夫して継続開催することを目指す。改正は反対。</p> <p>市民の立場にたつて、議会の使命を遂行すべきである。</p> <p>議会報告会は各議員発言の場であるから、改正により、議員発言の機会が相対的に減る。議員の見識を高める努力が必要と考える。</p> | <p>議会報告会を開催しないための改正ではなく、いつでも柔軟に、市民の要望に応じて又は議員の提案で開催できるようにする。ための改正です。</p> <p>開催時間や場所の設定等、各年代層が参加できる工夫を行うてまいります。</p> <p>肝に銘じ、市民目線で市政に反映して参ります。</p> <p>改正により、まちづくりについて議員の見識をより一層高めてまいります。</p> |

※詳細は市のホームページに公開しております。
※6月定例会で改正案が議員提出議案として提出され、全会一致で可決されました。

議会日誌

- 4月 14日 議員協議会
- 5月 1日 かくだ市議会だより212号発行
13日 会派代表者会議
20日 みやぎ県南中核病院企業団議会臨時会
21日 会派代表者会議
- 6月 1日 会派代表者会議
4日 第411回定例会招集告示
8日 議員協議会
11日 議会運営委員会
15日 議会運営委員会
22日 本会議(第2日)
23日 総務産業常任委員会
24日 議会運営委員会
25日 本会議(第3日)
28日 議員協議会
28日 本会議(第4日)
29日 議会運営委員会
本会議(5日目)
議会運営委員会
議会だより編集会議
- 7月 16日 議会だより編集会議

凍霜害の現地調査 ～果樹・野菜生産農家への支援に係る提案～

4月の氷点下となる冷え込みは市内の果樹・野菜生産農家に大きな打撃をあたえ、平成以降最悪の被害となり、収穫皆無の状態とも言われています。市議会では、6月9日、総務産業常任委員会委員8名で、市内の果樹生産農家の被害調査及び園地での意見交換を実施するとともに、野菜生産農家の調査・検討も重ね、6月29日に下記支援策を、議長より、市長に提案しました。

(内容)

- 1 令和3年6月4日付けで、宮城県知事及び宮城県議会議長あてに提出した要望書に対する回答を早急に確認し、生産農家に寄り添った支援策を講じること。
- 2 被害を受けた農家が今後も営農を継続できるよう、薬剤散布、肥料投入及び受精管理に要する資材費及び労務費などを市としても支援すること。



▲梨園地での被害調査



▲生産者との意見交換



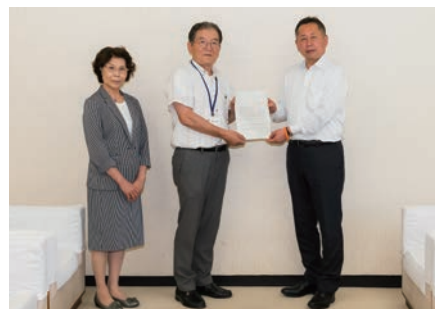
▲果面障害を起こした梨



▲りんご園地での被害調査



▲凍霜害により摘果されたりんご



▲支援策を提出する渡邊議長（中央）・相澤副議長（左）と黒須市長（右）

編集後記

新型コロナウイルス感染症による影響は、教育・福祉分野、農業や商工業の産業分野、さらには、自治センターや図書館に至るまで、あらゆる市民生活に及んでいて、今後さらに影響が広がり、行政の役割が増すことが予想されます。それに伴って、行政施策の効果検証やニーズの提案など、議会の役割も大きくなります。議会での議論が市民の皆さんにわかりやすく届くよう、広報の役割がますます高まっておりますので、丁寧な紙面づくりに傾注していきます。

議会だより編集会議

委員 星 守夫

9月定例会の予定

会期

9月3日(金)～10月4日(月)

| 本会議の日程（午前10時開会） | |
|-----------------|----------------|
| 9月3日 | 提案理由の説明 |
| 13日 | 質疑・自由討議 |
| 28日 | 討論・表決・一般質問 |
| 29日 | 一般質問 |
| 30日 | 委員長報告・質疑・討論・表決 |
| 10月4日 | 最終日 |

●決算審査特別委員会は

9月13日・14日・17日・21日・22日に開催

※日程は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、当面の間、本会議等の傍聴を中止しておりますので、ライブ配信でご視聴ください。

請願・陳情の提出は

8月27日(金)まで

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になれます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。



令和2年度政務活動費収支報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う市の施策等の財源に充てることを、市議会として決定したことから、全額返還しました。